

12月オレンジ第2だより

令和4年12月1日発行

イルミネーションや街のジングルベルの賑わいが師走を感じさせます。

日々、成長する子どもたちの姿を見ながら、毎日の私たちの働きかけ・声掛けがその子どもたちの人生の土台を作り、色々な体験や見る物・聞く物すべてが感性となって蓄積されていきます。そのような子どもたちを育てる「保育」という仕事の責任の重さを感じながら、「今日あの子どもはどうだった」「昨日のあの子どもは」等と振り返り「明日はどうしてみよう」と前へ前へと進める保育は、決して一人で出来る業ではありません。

「子育て」という大事なこの業を成し遂げるには、子どもを中心として、保護者の皆様との共有・共感が何より大切です。少しの疑問や不安をお互いが支え合う信頼関係こそが、子どもがよく育つ環境と思っています。

至らない事はお互いが補い、信じ合い、子どもにとって「何が大切」か、見失わないように心がけ、これからも一緒に頑張りたいと願っています。そして、お互いによき新しい年を迎えましょう！

年末年始は12月29日～新年1月3日までは、休園となります。

年明けは、正月遊びとして「コマ回し・たこあげ・福笑い」などを用意して子どもたちを迎えます。

12月はクリスマスを楽しむために、クリスマスメニューやクラスでのクリスマスパーティーおしゃれ着登園を計画しています。また、クリスマスお弁当会のご協力など宜しくお願いします。

発表会については2月10日（金）に、ほし組・にじ組・12月18日（土）そら組・うみ組を園内で予定しております。卒園式は3月18日（土）を予定しております。年間行事予定表の変更をさせていただきます

12月の食育メニュー

12月はローストチキンを始め、肉についてふれまします。「動物や植物の命を頂く事への感謝の気持ち」を育てたいと思っています。

タンパク質・炭水化物・ビタミン・などの栄養と身体の関係から、食への意欲・感謝する事が少しずつ伝わっていったらと願っています。

また、みんなで囲むパーティの喜び・ホールケーキを囲んで人と人がつながる喜びや大切さなどを感じてもらいたいと願っております。

12月の行事予定

12月6日（火）歯科検診

12月12日（月）内科検診

12月17日（土）午後職員研修・家庭保育ご協力

12月19日（月）避難訓練

12月21日（水）発育測定

12月22日（木）クリスマスお弁当会

お子さんが喜ぶお弁当をお願いします

12月23日（金）クリスマスパーティー

歌に踊り、サンタさん登場・記念撮影

クリスマスメニューランチ・おやつ

12月28日（水）ご用納め・大掃除

12月29日～1月3日 年末年始休暇

個人面談を終えて

コロナ禍での合間をぬって、保護者の皆様から、お子さんの家庭での様子や、生活面での困り事保育園での姿から、親が思いも寄らない成長の場面なども知ることが出来たかと思えます。その中から、ご家庭では「食事」「着替え」「片付け」「寝付きがわるい」等と、生活面での困り感が多かったように思われました。しかし、集団に於いては親が心配するほどではなく「上手く出来ている」事が多いのではないのでしょうか？ 親が思うように家では「出来ない」が多くても、子どもたちは遅かれ早かれ「出来るようになる」です。個人差はありますが、成人するまでにはしっかりと立派に育ちます。それが人間なのです。

今、ご飯をあまり食べなくても成長期には驚くほど食べ、好き嫌いもなくなる。

今、パンパースが外れなくても小学校までには自然に取れます。

しかし、片付けをすること・先を見通して準備をする事は、親、又は大人や友達から刺激を受けます。

身体の成長は自ら必要を感じて成長し、身辺の成長は環境から学ぶといわれますね。

ゆとりと・見守り・そして「自信を持たせる」ほめ方を心がけることが、今は一番大切な時期かと思えます。

次年度の子どもの動きは以下の状況です。

次年度卒園する子どもたちは、5名が「金城子ども園」6名が「オレンジ子ども園」3名が校区外の子ども園・保育園へと内定しております。

次年度3歳児に進級する子どもたちは12名となります。

保健だより

この冬は、新型コロナの第8波とインフルエンザの同時流行が危惧されています。また、ノロウイルス、感染性胃腸炎等冬に多い感染症が流行しやすい季節がやってきます。手洗い、うがいを徹底し、規則正しい生活を送るように心がけ、引き続き感染症予防に努めていきましょう。そして、かかりつけ医と相談して、出来るだけインフルエンザやコロナの予防接種を受けるようにしましょう。

11月は乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間でした。乳幼児が、睡眠中に死に至る原因の分からない病気です。乳児期の死亡原因の第3位となっています。

予防法は確立していませんが、以下の3つのポイントを守ることにより発症率が低くなるというデータがあります。

1、1歳児なるまでは、寝かせるときは必ず仰向けで寝かせましょう。

2、できるだけ母乳で育てましょう。

3、タバコをやめましょう。

子どもの命を守るために、保育園でも、ご家庭でも気を付けていきましょう。

食品による子どもの窒息事故を予防しましょう！

食品を誤嚥して窒息したことにより子どもが死亡してしまうという事故が増えているそうです。

※特に事故につながりやすい食材

弾力があるもの：こんにやく、きのこ、練り製品

滑らかなもの：熟れた柿やメロン、豆類

球形のもの：プチトマト、団子、ウズラの卵

粘着性が強いもの：もち、ごはん、白玉団子

固いもの：固まり肉、えび、いか

唾液を吸うもの：パン、ゆで卵、サツマイモ

口の中でバラバラになりやすいもの：

ブロッコリー、ひき肉など

・上記の食材は十分注意して与えましょう。

食品を小さく切って食べやすい大きさにする。

詰め込みすぎないように気を付ける